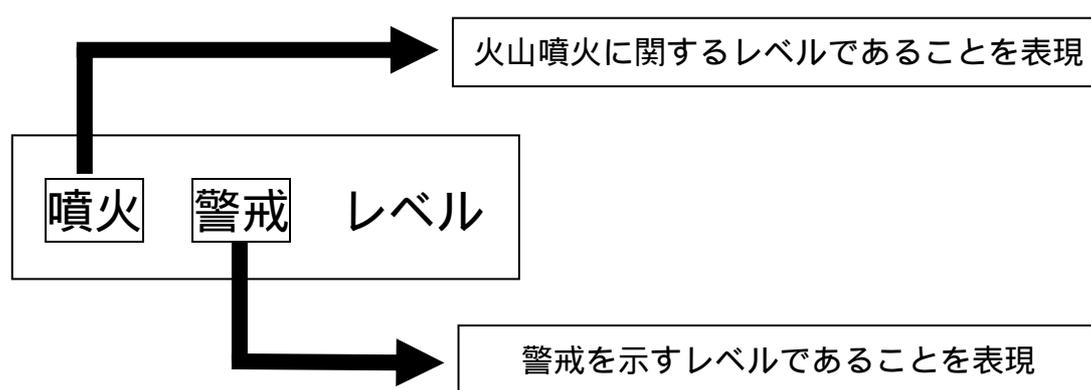


新しいレベル名称と 火山情報の改善

平成 19 年 6 月 7 日

(1) 新しいレベルの名称 (総称名) について

新しいレベルは、火口周辺の規制や登山・入山規制等及び居住地域における避難準備や避難等、噴火時等に対応した行動等を示し、住民等の生命を守る観点で火山噴火に対する警戒を呼びかけるものであることから、その名称を「噴火警戒レベル」とすることが適切である。



噴火警戒レベルは、単にレベルの数値のみでなく、各レベルに住民等の避難行動等に対応したキーワード (レベル1 「平常」、レベル2 「火口周辺注意」、レベル3 「注意」、レベル4 「避難準備」、レベル5 「避難」) が設定されている。

(2) 「火山の状況に関する解説情報」の新設

従来火山観測情報で発表してきた、火山活動が活発な場合の火山性地震や微動回数等の状況の発表については、レベルが変更されたとの誤解を生じないように、新たに「火山の状況に関する解説情報」を設けて発表することとする。

【参考】わかりやすい火山情報への改善の提言(「噴火時等の避難体制に係る火山防災対策のあり方(仮称)」骨子：第3回)

避難、避難準備、登山規制及び立入規制等の具体的な防災行動に結びつくよう区分し、各レベルにキーワード(「避難」、「避難準備」、「注意」等)を設定した新しいレベルに改善

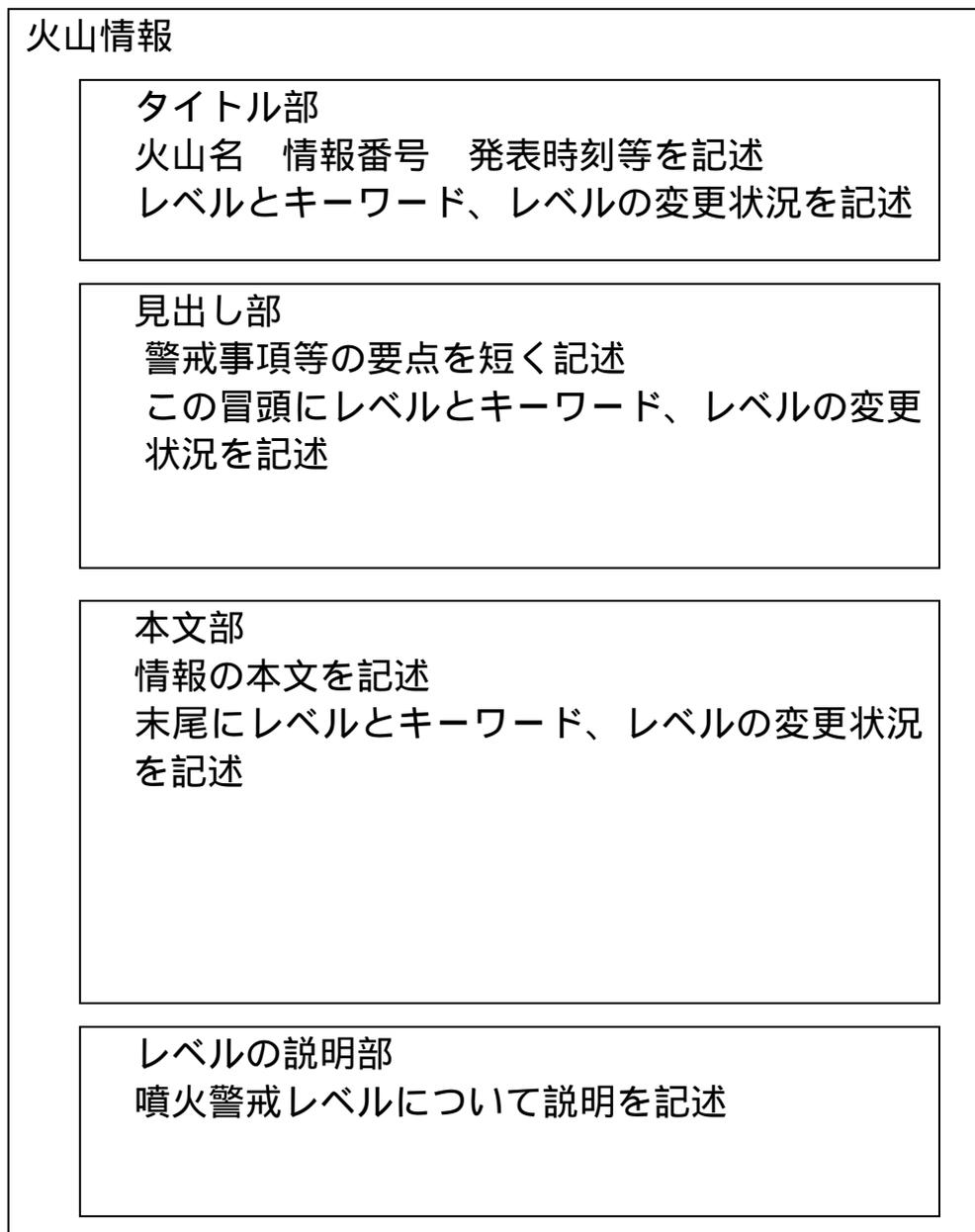
新しいレベルの趣旨を適切に表す名称に改称

火山現象をより詳細に解説する場合は、火山活動解説資料等で発表

「噴火警戒レベル」導入後の火山情報（案）

1. 情報の全体構成

火山情報は下図のような構成で発表する。この中で、タイトル、見出しの冒頭、本文の最後のそれぞれの部分にレベルとキーワードを記述し、誤解の生じることのないように努めて発表する。



2 . 各構成部分の説明 タイトル部

情報番号は火山毎に火山情報として通番*とする。

当該レベルに対応した情報名（緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報）を記載

火山名 火山情報 第 号（××××情報）
【レベル（キーワード）に引き上げ】

レベルとキーワード及びレベルの変更状況を記載

レベルの状況をタイトルに記載。情報番号は火山毎において火山情報として通番で発表。

例）「火山名 桜島 火山情報 第23号（臨時火山情報）
【レベル3（注意）に引き上げ】

*現状は、緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報のそれぞれの情報毎に通番で発表している。

見出し部

冒頭にレベルと変更等の状況を記載

* * *（見出し）* * *
<噴火警戒レベルを（キーワード）から（キーワード）に引き上げ>
（見出し文）
.....

見出しの冒頭にレベルの変更等の状況を表記。

例）* *（見出し）* *
<噴火警戒レベルを2から3（注意）に引き上げ>
桜島の昭和火口付近の噴火活動が活発化しており、今後、従来の南岳山頂火口で発生していた噴火と同じような噴火が発生する可能性が高くなっており、噴火警戒レベルを2（火口周辺注意）から3（注意）に引き上げました。今後の火山活動状況に注意してください。

本文部

＊ ＊（本 文）＊ ＊
・・・・・・・・・・・・・・・・注意して下さい。

本文の最後にもレベル
の変更状況がわかるよ
うに記述

< 噴火警戒レベルを （キーワード）から （キーワード）に引き上げました >

本文の最後にもレベルを記載。

例

< 噴火警戒レベルを 2（火口周辺注意）から 3（注意）に引き上げました >

レベルの説明部

特に大きなレベルを発表することはまれであることから、常に意味がわかるように情報文の中にレベルの説明（下記）を記述することを原則とする。ただし、同じレベルの情報が連続して発表される場合には省略することがある。

＊ ＊（参考：噴火警戒レベルの説明）＊ ＊

【レベル 5（避難）】：居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生または切迫。危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル 4（避難準備）】：居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まっている。警戒が必要な居住地域での避難の準備。災害時要援護者の避難等が必要。

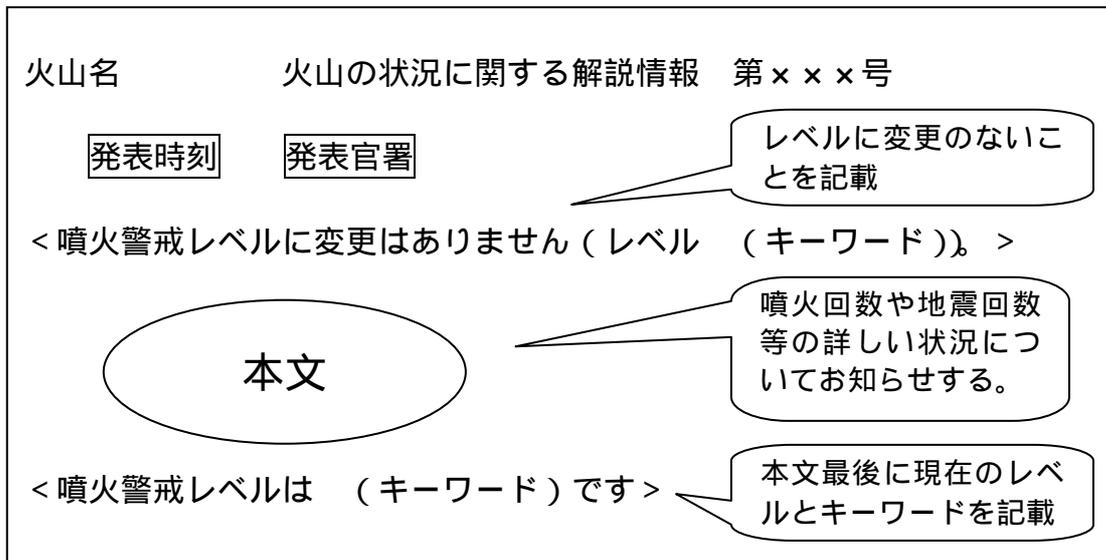
【レベル 3（注意）】：火山活動は活発。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山・入山規制等危険な地域への立入規制等。

【レベル 2（火口周辺注意）】：火山活動はやや活発。火口周辺への立入規制等。

【レベル 1（平常）】：火山活動は静穏。特別の対応なし。状況に応じて火口内への立入規制等。

（注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる）

3. 「火山の状況に関する解説情報」の例



火山の状況に関する解説情報の本文例

火山名 桜島 火山の状況に関する解説情報 第123号
平成18年6月12日18時35分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

** 本文 **

< 噴火警戒レベルに変更はありません (レベル3 (注意))。 >

桜島の7日15時から本日15時までの火山活動は次のとおりです。

この期間、噴火は観測されませんでした。

15時現在、噴煙の状況は雲のため不明です。

火山性地震の回数は次のとおりで、地震の規模はいずれも小さく、体を感じる地震は発生していません。

7日 53回

8日 26回

9日 40回

10日 10回

11日 12回

12日 4回 (15時まで)

火山性微動は5月23日16時54分頃に発生して以降、観測されていません。

GPSによる観測では地殻変動に特段の変化は認められません。

次の火山の状況に関する解説情報は19日16時発表の予定です。

< 噴火警戒レベルは3 (注意) です。 >